

Kanpuku News

2023 Spring

関複ニュース No.

2



春爛漫 (写真提供：渡邊浩財子氏 事務局)

- 巻頭言 関複副理事長 森迫 隆正
- 関複 新春賀詞交歓会、新春トップセミナー
- 関複 令和4年度 第8, 9, 10回定例理事会
- JBR 第48期定期総会
- 個人情報保護方針について 神田 幸男
- 業界の動き NEWS



関東複写センター協同組合

Canon

品質が
雄弁に語る、
現場が求める
一台。



印刷現場が求める、安定性と生産性、
そして高いメディア対応力を発揮。顧客ニーズに
応えた高品質な成果物で、プリントビジネスの
新たな可能性を生み出します。

imagePRESS
V1000



©オンデマンドプリンター ホームページ

canon.jp/pod-printer

カタログは、canon.jp/catalogからダウンロードしていただくか、ハガキの場合は、住所、氏名、電話番号を明記の上、〒261-8711千葉県千葉市美浜区中瀬1-7-2 キヤノンマーケティングジャパン(株) カタログ請求 [imagePRESS] 係までお送りください。※カタログ請求を通じてお客様より任意でご提供いただいた個人情報、は、カタログ送付の目的のみに使用いたします。



©キヤノンお客様相談センター

プロダクション向け
複合機

0570-08-0053

(ナビダイヤル) ※おかけ間違いのないようご注意ください。

※ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、03-6634-4392におかけください。
※受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。



平日9:00~17:00

(土・日・祝日および年末年始
弊社休業日は休ませていただきます。)

キヤノンマーケティングジャパン株式会社

WBC 「史上最強 侍ジャパン 優勝」



関東複写センター協同組合
副理事長 森迫 隆正

今回の巻頭言は日本中が沸き上がった、やはり侍ジャパンこれでしょう。

おさらいしておきますが、今回で5回目の開催です。その内2回優勝している（2006、2009年）第1回目と第2回目。1回目は王監督、選手はイチロー・松坂・上原。2回目は原監督、選手はイチロー・松坂・ダルビッシュ・マー君。有名選手で記憶にある選手。MVPは2回とも松坂投手だったのです。（皆さん覚えてますか）

因みに第3回は山本監督3位。第4回は小久保監督3位。読売ジャイアンツの4番打者として存在感一番の松井秀喜は、WBCには選手として参加していないのです。シーズンを優先して辞退。結局最後までWBCとは無縁のまま現役生活に幕を下ろしました。残念でした。

さてワールド・ベースボール・クラシックが3月9日から開幕。当然日本代表は有力選手ばかり、特に米大リーグ・エンゼルス大谷の活躍には度肝を抜く、今回のチームが「史上最強 侍ジャパン」だと思う。第1回大会から2連覇したチームを凌ぐタレント集団とも言えます。大谷選手は今大会最大のスター選手だろう。彼以上の国際的なスターはいない。佐々木朗希選手も2022年序盤に完全試合を成し遂げた。村神様 NPB のホームラ

ン記録を塗り替えた最高のスター達です。

試合は9日同業の社長と居酒屋で観戦、10日から12日までは19時からテレビに釘付けで、3/9 対中国 8-1、3/10 対韓国 13-4、3/11 対チェコ共和国 10-2、3/12 対オーストラリア 7-1、中でも私は全く知らなかった日系人ヌートバー選手（センター1番）です。日本チームを大いに盛り上げてくれました。「ペッパーミルポーズ」もビックリ、今や何か活躍した時、成功・お祝いの時に多分、日本中でペッパーミルポーズが流行るでしょう。今回 WBC は野球に興味がないが大谷選手には興味があり、テレビ観戦している人も多いそうで弊社の女性も見ていたそうです。

春分の日に奇跡の大逆転を目のあたりにし、久しぶりに興奮しました。22日決勝戦、終わってみれば大谷に始まり大谷で終わり、野球マンガを超えていた。下馬評通り「侍ジャパン」が3回目日本の優勝で幕を閉じた。

次のスポーツは私も高校・大学・社会人でやっていたラグビーの「ワールドカップフランス大会」9月からです。スポーツ観戦はより熱狂し、より感動を味わえます。

最後に、一度辞退したイチローと大谷選手は、そう遠くない時期にダブルで国民栄誉賞を受賞するでしょう。

関復

令和5年 新春賀詞交歓会を開く

3年ぶりのリアル開催に40人が集う



米田理事長

関東複写センター協同組合（関復、米田和秀理事長）は1月20日の午後4時から新春トップセミナー、午後5時50分から新春賀詞交歓会を東京・日本橋のロイヤルパークホテルで開催した。

新春賀詞交歓会には、来賓、賛助会員、会員ら40人が出席した。

はじめに登壇した米田理事長は、同日の午後4時から開催された新春トップセミナーに触れ、この3年間リアルの会がほとんどできずにいたコロナ禍の中で、どうしたら確実に開催できるかということ考えた結果が、今日のオンライン形式の開催になったと説明した。

同セミナーは、リコー日本の協力を得て、講師のいる晴海のスタジオとロイヤルパークホテルの会場を結んだ上、Webでも配信するという、関復としても今後の活用が期待できるハイブリッド方式で開かれた。

また、米田理事長はオンライン開催により、地方でも実際に聞けるチャンスが得られるというメ

リットも指摘した上で、会場の出席者に対し「リアルであることの重要性を今、目の当たりにしている。皆さんがこの場にお集まりいただいたことによって、いままで非常にしんどい思いをしたことが少し発散され、この場が皆様にとって有用な場になることを願っている」と述べた。

最後に米田理事長は、非常に大事にしているW杯日本代表の権田修一選手の言葉「改革とか変化ということよりも、ある種アップデートと成長を繰り返していく。それで少しでもいいから、成長しながら毎日を変えていくということが大事だ」を紹介し、「皆様、今年はアップデートの毎日、そして少しでも、年齢に関係なく成長の毎日であることを祈念いたします」とエールを送った。

続いて登壇した、東京都中小企業団体中央会総務課の橋北隆課長は、物価高騰、為替急変など中小企業にとって昨年は厳しい年だったと振り返り、「中央会では厳しい状況に苦しむ事業者を支援するために緊急対策事業を実施するととも



中央会の橋北総務課長



杯を高々と上げ乾杯の発声をする駒橋氏

に、販路開拓や事業承継などの経営課題の解決に役立つ事業を実施した」と述べた。

また、今年喫緊の課題として、消費税のインボイス制度への対応があるが「10月からなので、なるべく早めの対応をお願いしたい」と要請した。

協賛会員代表あいさつで、キャノンシステムアソシエイトの駒橋剛氏が登壇した。

駒橋氏は、今年の干支にちなんだたとえ話「ウサギの登り坂」を紹介した。ウサギは後足が長く、坂を登ることが巧みであるところから、得意分野で実力を発揮すること。また、条件に恵まれて、ものがあれば非常に調子よく進むというたとえでいわれているという。

駒橋氏は「今年の皆様には非常に縁起のいい話になると思ひ披露した。この1年、昨年よりさらに得意分野を伸ばして、今日参加の皆様の売上げが伸びることを祈念しております」と述べ、乾杯の発声を行った。

3年ぶりという事もあり、あちこちで懇親の輪が広がった。

セミナー講師の杉山大二郎氏と家令光国理事が収録スタジオから駆け付け、杉山氏がスピーチをするなど会場は盛り上がった。

まさに宴たけなわの時、中締めにあいさつに立った柴田昌彦関復理事は、昨今の経営環境の

厳しさをあげ、「うちは製本業でスタートしたが、製本業では食べていけないので、皆さんの力を借りて複写の方もやりはじめ今、売上げが製本と複写で、半々になった」と語った。

また、フランスでは6700万人の人口のうち70代以上で働いているのは8000人しかいないが、日本では64万人いるという話を紹介し、その理由として、働くことが好きなのか、あるいはやることがないのか、家にいたら追い出されるのかとユーモアを交えながら、その要因を分析してみせた。

さらに柴田氏は「うちの社員に明日休んでいいよと言っても出てきます。やることがないのかも知れませんが、多分日本人は遊び方を知らないのかもしれない。私も含めてなんですけど。

休んでいいよといわれるのは、来なくていいよといわれている感覚なのかもしれません。やはり自分が必要とされているかどうかは重要な問題だと思う。うちは12人の社員のうち3分の1がもう70代。この先、事業をどうしようか考えています。ただ今、年金だとかそういうものでは、食べていけないと思います。今まで一緒にやってきた仲間ですから、やれるところまでやるんだ、やっていいよ、ということにしています」と真摯に語った後、柴田理事は一本締めを行った。



中締めのあいさつは柴田理事

関復 新春トップセミナー

組織力強化セミナー「信長の血涙」 リーダーの決断 戦国武将の経営戦略

スタジオ配信によるハイブリッド形式で開催

関復は1月20日午後4時から、作家の杉山大二郎氏を講師に、新春トップセミナー「組織力強化セミナー『信長の血涙』リーダーの決断 戦国武将の経営戦略」を開催した。

同セミナーはリコージャパンの協力のもと、同社のトリトンスクエア配信スタジオと賀詞交歓会会場を、スマホを活用した双方向型オンラインで結び、さらにZoomでライブ配信するというハイブリッド形式で行われた。

司会は関復の家令光国教育情報部長が担当した。

はじめにあいさつに立った米田和秀関復理事長は「戦国時代においては、リーダーは限られた情報をもとに決断を迫られることの連続だったことでしょう。その決断に幹部が躊躇し、行動が滞ることは信頼の崩壊に繋がります。一方、現在のように情報量は圧倒的に多いものの、その分析力を用いなければ、同じような結果を生むでしょう。本日の講演が、日頃より覚悟を持って経営されている皆様にとって、時代を超えて少しでもヒントになることを祈念いたします」と述べた。

セミナーの講師杉山大二郎氏は、もとリコージャパンの社員で、在職中は6000台のiPad導入プロジェクトやリコーマスターズなどの全社的なプロジェクトの責任者を歴任し、独立後も歴史作家、経営コンサルタントと文字通り2足の草鞋で大活躍されている。

はじめに杉山氏は自己紹介として、いままで執筆した書籍を披露した。「至高の営業」「嵐を呼ぶ男!」「信長の血涙」「さんばん侍」などがあるが、なかでもビジネス書の「至高の営業」には、村上龍氏の推薦文が帯に入り、著者自慢の1冊となっている。

講演では杉山氏が大好きだという織田信長を取り上げ、皆が抱えている気短で、恐ろしいというイメージを、史実をもとに払拭した。

例えば第六天魔王と名乗ったとされているが、武田信玄からの挑戦状に対し、売り言葉に買い言葉とばかりに第六天魔王と署名したといわれているが、実際この件は、ルイスフロイスの創作だった。さらに信長が用いた「天下布武」の署名の中の武は、天下を武力で統一するのではなく、「七徳の武」（武の七つの目的を備えた者が天下を治めるにふさわしい）からきていると解説した。

杉山氏は、村木砦の戦い、桶狭間の戦い、長篠の戦い、甲州征伐など、信長の主な戦いを紹介したが、それらを通じ「信長は先頭になって戦いリーダーシップを示す。大切な思いを明確化し、天下布武というわかりやすい言葉で言語化して、自分の部下の扱い、どういう組織を作っていくかをきちんと言語化していき、理念の共有をはかり、目指す姿、実際のビジョンを示している。信長の晩年の甲州征伐の際に発布した国掟をみても、実は信長は優秀な企業経営者であったと思う」と語った。



自著を手に賀詞交歓会会場でスピーチする杉山氏

令和4年度 定例理事会 報告

第8回定例理事会 1月20日 開催

開催場所：東京・日本橋のロイヤルパークホテル

I. 【審議事項】

- ・ 協賛会員の(株)ムサシ東京第一支店から昨年の12月9日に脱会の連絡があり、12月26日 脱会届が受理された旨報告があった。
- ・ 関複 HP上の会員名簿掲載問題だが、先ごろ会員、協賛会員から回収された同意書に基づき、対応を進めることが承認された。なお、未提出社は掲載に同意したものとする。

とも旧く、なぜ送付しているのか不明なところもあるので、送付先のメンテナンスを行う。

▽ 教育情報部

- ・ 新春トップセミナーの進行について説明があった。
- ・ 協賛会員主催のセミナーを、会員宛に案内メールで周知した。

II. 【確認事項】

各部会の活動について

▽ 会員交流推進部

- ・ 新春トップセミナー、新春賀詞交歓会の運営について、進行の説明、確認を行った。
- ・ セミナー講師の杉山大二郎氏から同氏の著書「信長の血涙」の無償提供があり、出席者にお土産として渡すことと、同じく著書の「至高の営業」を、会場受付で販売することが報告された。
- ・ セミナーに交付された自主研修事業補助金の中央会への報告書について協議。

▽ PP 事業部

- ・ 1月から3月までの教育実施報告書を、更新企業あてに3月中旬までに提出するよう依頼した。

III. 【その他】

- ・ PP に加盟を検討中の企業があることが紹介され、現在の加盟条件について確認が行われた。

▽ 広報企画部

- ・ 1月12日に「Kanpuku News」第1号を郵送した。
- ・ 事務局から表紙写真提供の協力要請があった。
- ・ 郵送した「Kanpuku News」の戻りがあったが、送付先リス



第8回定例理事会

第9回定例理事会 2月9日 開催

場所：関東複写センター協同組合事務局、Zoom ハイブリッド

I. 【審議事項】

- ・ 先に回収した同意書に基づき、HP上の会員名簿掲載作業をスタートする。掲載が完了後、事務局より会員社にメールで通知する。
- ・ 関複のインボイス制度登録の件が審議された。制度登録によるメリット、デメリット検討のため継続審議とする。

II. 【確認事項】

各部会の活動について

▽会員交流推進部

- ・ 新春賀詞交歓会の結果報告
 昨年の忘年会に出席できなかった会員も出席され、成功裏に終了したと報告。また収支も報告された。
- ・ 春コンペ開催の提案があり承認された。

▽広報企画部

- ・ 「Kanpuku News Spring号」に向けて掲載内容を検討した。
- ・ 2月13日14時から、制作を担当している

ケーヨーにて広報企画部会を開催する。結果は次回理事会にて報告予定。

▽教育情報部

- ・ 各メーカーからのセミナーの案内は事務局が会員にメールにて周知済。他に、米田理事長から、DS連の次世代人材育成セミナーへの参加依頼があったことが報告された。
- ・ 新春トップセミナーの報告があった。

▽PP事業部

- ・ 1月から3月までの更新が必要な企業が20社あり現在5社が申請済み。

III. 【その他】

- ・ PP認定取得、維持にかかわる費用の確認や、認定制度の今後の展開などについて協議された。
- ・ 米田和秀理事長が体調不良のため欠席された。



第9回定例理事会

第 10 回定例理事会 3月9日 開催

場所：関東複写センター協同組合事務局、Zoom ハイブリッド

I. 【審議事項】

- ・ プラナが退会し移管として親族のプリン
トランナップ入会手続きが完了した。
- ・ 関複のインボイス制度申請の件
米田理事長から、年間 1000 万円以上の
取引をしていない、中央会のほうでも殆
どの団体がやっていない、事務局の手間
などを勘案した結果、申請しないと説明
があった。

II. 【確認事項】

各部会の活動について

▽ 会員交流推進部

- ・ 第 8 回関複オープンゴルフコンペ
5月13日(土)に立野 クラシック・ゴル
フ倶楽部にて開催。理事にも参加を要
請。
- ・ コンペ以外にも、交流が促進できるよ
うな行事を考え中。

▽ 広報企画部

- ・ 2月13日14時からケーヨーにて広報企
画部会を開催した。
- ・ 月刊関複が Kanpuku
News になり、今後掲
載内容を検討していく。
- ・ 巻頭言については、
早川淳理事が毎回次
の担当者を指名する
ので、理事にも協力
をお願いしたい。

▽ 教育情報部

- ・ 次のセミナーは、防

災のために具体的に何をしなければい
けないのか、というテーマを考えている。
次の理事会には関連資料などをもとに提
案したい。

▽ PP 事業部

- ・ 1月から3月までの更新が必要な企業が
20社あり現在まだ6社が残っているが、
3月上旬までに申請書を提出するよう促
している。

III. 【その他】

- ・ 全国中小企業共済財団全共済の件
現在 95 名が加入しているが、100 名を
超えないと成り立たない。理事が協力し
て 5 名を確保し、失効を避ける。
- ・ 予算の執行状況について森迫隆正副理
事長から説明があった。
- ・ 3月4日に吉川昌甫前々関複理事長が亡
くなられたことが報告された。
- ・ 事務局のパソコン、ネットワーク環境を
更新した。



第 10 回定例理事会

キヤノン初の A1ノビ対応デスクトップ大判プリンター imagePROGRAF TC-20 新発売 省スペース設計と使いやすさにより図面出力を支援!



新製品“TC-20”は、机や棚に置いて使えるコンパクトなデスクトップ大判プリンターです。最大 A1 ノビ幅のロール紙に対応するとともに、A3 サイズを連続印刷できるオートシートフィーダー（ASF）を標準搭載。シンプルな操作で印刷できる無料のソフトウェアソリューションに対応し、上位機種と同等の使い勝手を実現します。

おもな特長

トップクラスのスリムな筐体により限られたスペースでの大判印刷を実現
用紙のセットやインクの補充など、印刷に関わる全ての操作を本体前面から可能に。ロール紙内に通していたシャフトをなくし、狭い場所でも交換可能なロールホルダーを新たに採用することで、簡単にロール紙をセット可能です。

ASF 標準搭載による A3 図面の連続印刷と上位機種同等の使い勝手・高品位印刷を実現
標準搭載の ASF には A3 用紙を最大 50 枚セットでき、A3 図面の連続印刷が可能です。また、PDF や TIFF などの形式が異なる複数のファイルもシンプルな操作で印刷できる無料ソフトウェア「Direct Print Plus」に対応しているほか、全色顔料インクを採用しています。これにより、上位機種同等の使い勝手と高品位な文字や線の印刷を実現しています。

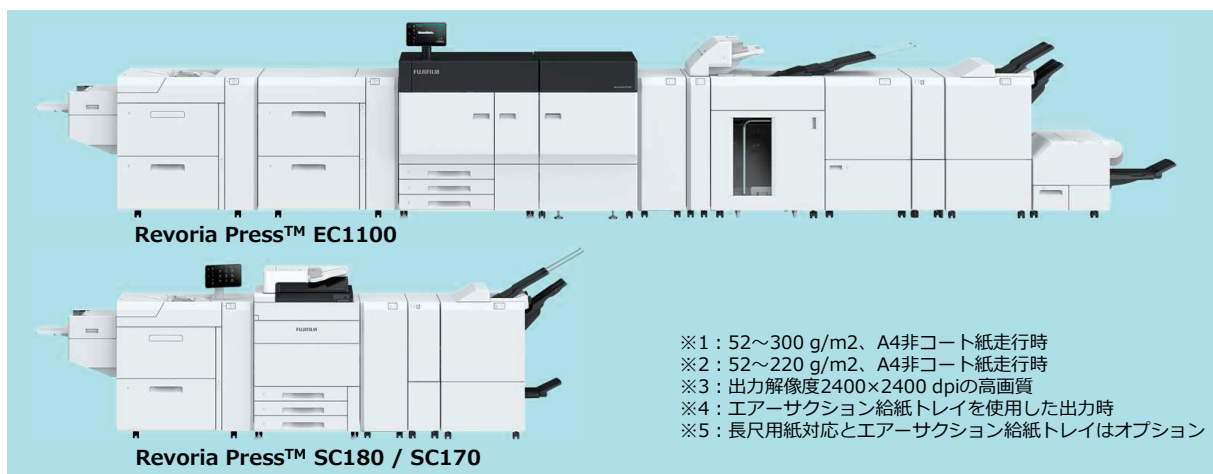


幅広い用紙対応力で印刷ビジネスを拡大するプロダクションカラープリンター 「Revoria Press™ EC1100」 「Revoria Press™ SC180 / SC170」

新開発のカラーマネジメント機能によりスキルレスで高品質を実現

富士フイルムビジネスイノベーションは、プロダクションカラープリンター「Revoria Press™ EC1100」ならびに「Revoria Press™ SC180 / SC170」の2機種3モデルを国内で4月3日から発売開始しました。印刷業や企業内印刷における、カタログやマニュアル、販促物などの多品種・小ロット・短納期の出カニーズに対し、デジタル印刷ならではの柔軟性で応えます。

主に印刷業などプロ市場向けの「Revoria Press™ EC1100」は印刷速度が毎分100ページ※1、企業内印刷やオフィスユースにも適応する「Revoria Press™ SC180 / SC170」は毎分80ページと毎分70ページ※2の高生産性と高画質※3を両立。用紙の厚さは52g/m2の薄紙から400g/m2※4の厚紙まで、サイズは98×148mmから最大330×1200mmの長尺用紙※5まで対応します。さらに、エアークッション給紙トレイ※5により、紙粉の多い用紙やパウダーを使用したプレプリント紙、凹凸用紙や密着しやすいコート紙など、給紙のストレスになりやすかった用紙も安定した搬送が可能です。



また、新商品では印刷オペレーターのスキルに依存することなく、印刷物の色を容易に再現するカラーマネジメント機能を提供します。印刷時の色合わせ作業の手間を軽減しながら、印刷物の品質維持を実現します。

ディスプレイ上で印刷物の色を忠実に表示する「Color Profile Maker for Display」

ディスプレイにRGBの色域で表示されるデータは、印刷するとCMYK色域で表現されることから、データと印刷物の色が異なる場合があります。従来はテスト印刷を繰り返してデータの色を調整する作業が必要でした。

「Revoria Press™ EC1100」と「Revoria Press™ SC180 / SC170」で提供する新開発のカラーマネジメント機能である「Color Profile Maker for Display」は、ディスプレイの色を補正し、印刷物の色を忠実に表示することで、色確認をするテスト印刷の手間が軽減され、効率的に色合わせができます。

過去の印刷物の色を読みとり再印刷が可能

「Revoria Press™ SC180 / SC170」には、プリンター本体のスキヤナーを使用して過去の印刷物や他機種で出力した印刷物を読み取ることで、その色を再現して印刷できる新開発の機能を搭載。カタログや販促物などを増刷する際に、過去の印刷物と色を合わせて簡単に再印刷できます。

AI（人工知能）による写真画質の最適化

上位モデルの「Revoria Press™ PC1120」で好評を得ている、AI（人工知能）による写真画質の補正機能をいずれのモデルにも搭載。写真画像1枚ごとに暗すぎる/明るすぎる、逆光、人物/青空の色味が悪いなど、写真のシーンに適した画像補正をAIが自動的に行い、美しく印刷します。

当社はプロダクションプリンター「Revoria Press™」シリーズのラインアップを拡充し、多様な印刷物への対応や印刷業務効率化のニーズに応え、デジタル技術活用による印刷ビジネス拡大に貢献します。

リコーだからこそ提供できる「あったらいいな」という便利な機能を搭載した業務アプリケーションで、紙や表計算ソフトからの脱却を実現します！

RICOH kintone plusでできること！

① リコー複合機との連携が標準搭載

紙文書を利用する業務では、リコー複合機でスキャンした紙文書のRICOH kintone plusへのスムーズかつダイレクトな登録を実現することができ、kintoneのさらなる有効活用で生産性を革新します。



② リコー独自開発の便利なプラグイン機能

様々な採番機能で版管理が楽

標準のkintoneでは1,2,3,4...と数字の連番でしか自動採番させることができませんが、例えば日付を入れて「YYMMDD-001」や部署名を入れて「自部署-001」などのように任意の様々な形式で自動採番ができるようになり、版管理が必要な業務に役立ちます。

条件を絞った検索で効率UP

標準のkintoneではレコードの中から必要な情報を検索したい場合に、登録されたレコード全てを対象とした検索しか行うことができません。例えば「山口」という氏名を検索したくても、住所にある山口や、企業名に山口が含まれるものも検索結果として表示されてしまいます。氏名や住所など条件別での検索が可能になり、より簡単に必要な情報にアクセスできます。

帳票作成業務が簡単に

標準のkintoneでは行うことができないのが、登録されたレコードの内容をそのまま見積書や注文書など必要なフォーマットに帳票出力することです。例えば見積書を作成する際にも、取引先名や積み上げ品目、金額等をRICOH kintone plus のアプリにレコード登録しておくだけで、あらかじめ登録しておいた見積書フォーマットに従って、該当レコードの内容をそのまま転記・出力できるようになります。

個人情報保護方針について

株式会社コンサルティング・オフィス

代表取締役 神田幸男（中小企業診断士）



個人情報保護法では、個人情報取扱事業者が、「個人情報保護方針」の策定や公表することを義務づけていませんが、「個人情報保護に関する基本方針」（閣議決定）において、消費者の権利利益を一層保護する観点から、個人情報の保護及び適正かつ効果的な活用について主体的に取り組むことが期待されているとして、その策定と公表を推奨しています。

この指針を受けて、PP（プライバシーポジション）の認定を受けるための要件の一つに、個人情報保護方針の策定及び社内内外での公表を義務づけています。

昨年の改正個人情報保護法に定められている個人情報の取り扱いに関する公表事項を「個人情報保護方針」といった形で公開するにあって変更が必要なポイントについて解説いたします。

全社が共通して変更が必要なポイントとして、①事業者の代表者名、②事業者の住所、③保有個人データの安全管理措置のために講じた措置、を追加する必要があります。

①と②については、問題ないと思われますので、③について説明を加えます。

安全管理のために講じた措置として、以下の項目等を記載する必要があります。

- ・ **基本方針の策定**
- ・ **保有個人データの取り扱いに関する規則の整備**
個人情報の取り扱いに関する規程を策定し、従業員に周知している。
- ・ **組織的安全管理措置**
個人情報保護に関する取り組みを推進する管理者を定めている。
個人情報保護に関する社内規程の遵守状況を定期的に監査等で確認している。
- ・ **人的安全管理措置**
個人情報保護に関する教育を定期的に実施している。
個人データに関わる業務を行う従業員とは機密保持に関する誓約書を締結している。
- ・ **物理的安全管理措置**
事務所等では入退室の制限を行っている。
- ・ **技術的安全管理措置**
必要最小限の担当者のみ個人情報へのアクセスを許可している。
ウイルス対策ソフトを導入し、外敵脅威から保護を行っている。

以上の項目を追加する必要があります。

詳細につきましては、本年度の「PP維持更新研修会」で説明させていただきます。

情報ビジネスリコー会

「第48期定時総会」を開く

役員改選では北島会長はじめ全役員が再任



北島会長

情報ビジネスリコー会（JBR、北島雄二会長）は1月10日午後2時半から、東京・文京区のホテル椿山荘東京で「第48期定時総会」を開催した。

総会の議案審議に先立ち登壇した北島会長は新年の挨拶を述べた後、3年ぶりとなるリアル開催に触れ、オンライン開催の味気無さを述べ、リアルで開催した後の、情報交換や飲みニケーションの重要性を強調した。

また、北島会長は同会のHPから「J・B・Rとは、会員各社とリコー・ジャパンならびに、リコー関連会社との連携をより強固なものとして、会員相互の研鑽、人材育成、親睦、繁栄を図ることを目的とします」を紹介し、「この目標を再認識し、感染対策をしっかりとしたうえで、各行事を開催していきたい」と抱負を述べた。



鬼頭執行役員

続いてリコー・ジャパン鬼頭忠執行役員が登壇した。鬼頭氏は、昨年

はコロナ禍の中で、22年度4月から12月までは業績を対前年比で約

108%と伸ばすことができたことを報告。国もデジタル化を推進する中、顧客からは、コピー機を使い紙の電子化をしたり、業務のデジタル化、効率化に関する質問などが増えている現状を紹介した。

鬼頭氏は最後に「会員の皆様に対し情報提供や支援をすることによって会を盛り上げ、皆様の社業の発展に貢献していく」と語った。

第1部の定時総会では、第47期事業・会計・

監査の報告をはじめ第48期業計画・予算案などすべて原案通り拍手で承認可決した。

第48、49期の役員改選では全役員が再選され次のように決定した。会長 北島雄二氏（共立工業社）、副会長 中村保男氏（青工社）、会計 池田博之氏（東京コピーサービス）、監査 森迫隆正氏（国際写真）、運営理事 古賀正人氏（共同写真）、梶宏朗氏（ニチゲン）、岡崎信一氏（ニッシン興業）、山内豊氏（ヤマト）。

第2部のリコータイムでは、昨年9月にリコーグループとなったPFU社が世界シェアNo.1の業務用イメージスキャナ「fiシリーズ」と文字認識ソフト「Dyna Eye 11」を紹介した。

第3部の新春懇親会の冒頭、登壇したリコー・ジャパン松井厚志首都圏BP事業部長は顧客の要望、要求が最近相当変化したと指摘し、「紙の印刷物からデジタルへの納品と、『モノからコトへ』への事例、経験もだいぶたまってきたが、最近の顧客事例というのは、それぞれ要点が違い、多様化している。こんなことで今、苦労している。また、顧客からは人の件とスキルの件を必ずいわれる。人がいないんだとか、今いるメンバーのスキルアップが非常に大変だと。実はこれらは、デジタルの力でだいぶお役立ちができる。困りごとがあれば、リコー・ジャパンに問い合わせをしてほしい」と語った。

この後、恒例の鏡開きが行われ、一昨年理事に選ばれた岡崎理事が乾杯の音頭をとり、会場に笑みがあふれるリアル懇親会に入った。

中締め挨拶は賛助会員を代表して、園田浩司タキネット社長が行った。

閉会挨拶では副会長の中村氏が3本締めを行い、閉会となった。

業界の動き

NEWS

東京グラフィックス

2023 年新春賀詞交歓会を開催



東京グラフィックス原田大輔会長

東京グラフィックサービス工業会（東京グラフィックス、原田大輔会長）は1月16日、東京・池之端の東天紅上野本店で「2023年新春賀詞交歓会」を開いた。

原田会長は我が国経済が様々な要因により厳しい状況に直面していると述べ、「印刷需要は減少し続けているが、私達はこれまでの経験を生かし、さらにデジタル技術を取り入れていくことで、紙とデジタルのベストミックスを提案できる産業として存在価値を示せると思う。今年1年の活動が、来年以降の飛躍に繋がる大事な1年となる」

とあいさつ。

乾杯の発声で登壇した日本グラフィックサービス工業会（ジャグラ）の岡本泰会長は、ジャグラのコンパクトDXが東京グラフィックス会員の本部での活躍を原動力に全国へ広がっていると紹介。「こんなわくわくするような年は今までなかったと思います。この元気のまま今年1年突っ走ろうではありませんか」と声高らかに「乾杯」の発声を行った。

宴の途中、公務の合間を縫って出席した小池百合子東京都知事は、今の厳しい状況が、様々な環境が大きく変革をとげる契機となることを期待していると述べ、「皆様方のテクノロジーも生かされ、そして今年のウサギ年、より飛躍されることを心から期待を申し上げている」とあいさつ。

DSF

「2023年総会」を開く

ドキュメント・サービス・フォーラム（DSF、白橋明夫会長）は1月27日、東京・豊洲の富士フイルムビジネスイノベーションジャパン豊洲事業所で「DSF2023年総会」を開いた。

総会に先立ち登壇した白橋会長（白橋社長）はDSFが昨年創立25周年を迎えたことを踏まえ、今年の7月7日に25周年記念事業を計画しており内容が決まり次第お知らせすると述べた。

また、コロナ禍について触れた白橋氏は、2023年にはいよいよインバウンド需要も回復するし、社会が動き始めているとの感触を得ていると語った。さらに白橋氏はマスコミでの見方などを通した「これからの10年間はこれまでの100年間に値するほどの変化になる。この1年間では10年分のイノベー

ションを起こさないといけない。これが本当なら、この2、3年は20年～30年分のイノベーションを起こさないといけない。そういう時代になってきたと感じる」と語り、DSFの存在価値を訴えた。

富士フイルムビジネスイノベーションの木田裕士執行役員は、この4月1日から北米、ヨーロッパで同社としてドキュメントプロダクション事業を展開できるとし、「今年は意味のあるスタートになる年だ。コロナ禍の規制の緩和などが追い風になる年だと思っている」と述べた。ただ一方ではアメリカでのIT企業の動きを捉え、変化を取り込んで事業を拡大するかどうかを問われているとも語った。

総会で発表された2022年会計報告、2023年予算計画について拍手で承認された。つづいて白橋会長は2022年活動報告と2023年活動計画

および理事会決議事項報告を行い、6 研究会のテーマとその内容を紹介した。総会は休憩を挟ん

で各ビジネス研究会による分科ミーティングが行われた。各研究会から活動予定の発表があった。

JAGAT

page2023 を開催

日本印刷技術協会（JAGAT、塚田司郎会長）は印刷メディア・ビジネスの総合イベント「page2023」を1月31日から2月10日まで、「創注」を統一テーマとして開催した。

リアル展示会は2月1日から3日までの3日間、東京・池袋のサンシャインシティコンベンションセンターで開かれた。会場では省力化、スキルレスに対応した製品や、業務効率化ソリューションなどのアピールが行われた。

2月1日の開会式であいさつに立った塚田会長

は「コロナ禍以来、数字を戻してきている会社もあるが、その裏には事業環境の変化に対して、事業転換したり、経営資源を移動したりした経営者の決断がある」と指摘。

また、この国に一番足りないのはリーダーシップであるという意見を紹介し、「皆さんには、激変する事業環境の中で、努力とリーダーシップで前にすすんで社会を変えていっていただきたい」と述べた。また、課題として気候変動にも触れ、産業、印刷業にかかわらず、資源効率のより良い生産に変えていく必要性を強調した。

コニカミノルタジャパン

社長交代の記者会見を開催



一條 KMJ 社長

コニカミノルタジャパン（KMJ）は3月1日、東京・芝浦の本社で代表取締役社長交代の記者会見を開いた。

席上、一條啓介新社長は次のように所信表明を行った。

KMJには長い間に築きあげられた顧客との信頼関係があり、その信頼関係を維持、拡大していく事が私たちの命題だと考えています。

私が社員に対して言っている2つの大きなことは、1つが強みを起点に、強みを武器にということです。もう1つは複合的な価値提供による真の課題解決の実現です。

私たちが接点を持つすべての領域で、顧客の顕在化した課題だけでなく、潜在的な課題に対しても、価値を複合化し、解決に向けた支援を展

開して参ります。

顧客から様々な相談をうけ、それに対して実際の実務的なアウトカムを提供するということを繰り返すことにより、信頼関係がますます厚く太くなる。ここをすごく大切にしたいと思っています。

【一條啓介氏プロフィール】

○1992年 コニカ（現コニカミノルタ）入社／2004年 Konica Minolta Medical & Graphic (Shanghai) 社長／2010年 コニカミノルタヘルスケア（現 KMJ）社長付、営業企画室長／2013年 Konica Minolta Healthcare Americas 上級副社長／2017年 KMJヘルスケアカンパニー営業推進部長／2020年 コニカミノルタ執行役員兼 KMJ 常務取締役ヘルスケアカンパニープレジデント／2023年4月1日：KMJ 代表取締役社長に就任

なお、大須賀健前社長は非常勤の取締役に就任した。

— 訂正とお詫び —

Kanpuku NEWS 2023 Winter 号に以下の間違いがございました。謹んでお詫び申し上げ、ここに訂正いたします。
9ページ1行目 誤：富士フィルムビジネスイノベーションの提案 正：富士フィルムビジネスイノベーションジャパンの提案

『Kanpuku News』表紙掲載写真ご提供のお願い

Kanpuku News では毎月、表紙の掲載写真を理事の皆様のご協力でご提供しております。今後は会員同士のコミュニケーションも含め多くの会員皆様からの投稿をお願いしたいと思います。

題 材：フリー

撮影機材：一眼レフ～スマホ全て可能

※タイトル又は簡単な説明を 30 文字程度付けて下さい

送 付 先：メールにて以下へ送付して下さい
kjun@keyo.co.jp

※写真は横長タイプを推奨します



■今月号の掲載写真

春爛漫

渡邊 浩財子氏（事務局）



Kanpuku News No.1: 朝香 雅文氏
真っ白に雪化粧した富士（芦ノ湖）



月刊関復 8 月号：渡邊 浩財子氏
東京明治神宮



月刊関復 5 月号：早坂 淳氏
稲村ヶ崎から江ノ島を望む

関復会員情報

【組合員】

〈新規入会〉

(株)プリントランナップ

代表取締役 中村 拓登 様

〈退会〉

(株)プラナ

代表取締役 中村 安次 様（令和5年3月末日）

【協賛会員】

〈退会〉

(株)ムサシ 東京第一支店（令和5年3月末日）

関東複写センター協同組合季刊誌

Kanpuku News

2023 Spring No.2

令和5年4月1日発行

購読料／年間購読 2,000 円（消費税・送料込み）

1 部 500 円（税込み・送料別）

編集発行人：関東複写センター協同組合
広報企画部 Kanpuku News 編集委員会

発行所：関東複写センター協同組合

住 所 〒112-0002

文京区小石川 1-4-12

文京ガーデン ザ ウエスト 704 号室

T E L 03-3815-4338

F A X 03-3815-4357

Eメール info@kfcc.or.jp

U R L http://www.kfcc.or.jp

印刷所：株式会社ケーヨー



KONICA MINOLTA

Giving Shape to Ideas

真の プロダクション 印刷システム



印刷生産機としての実稼働率の向上、より高い品質の印刷物をより確実に、安定して供給。そしてそれらをスキルレスでのオペレーションで実現する。プロダクション印刷システムの基本性能向上に拘った真の生産機、それが、AccurioPress C6100シリーズです。

AccurioPress C6100/C6085

色管理・表裏見当調整を自動化

用紙厚によらず毎分100枚※1の高速出力

受注幅を拡大する400g/m²の厚紙対応力

独自技術を駆使した高画質と色安定性

サービスの多様化を推進するフィニッシャー群

※1: C6100にて、A4ヨコ・52~400g/m²紙時



*写真はC6100にオプションを装着したものです。

コニカミノーラ ジャパン株式会社 〒105-0023 東京都港区芝浦1-1-1

●商品に関するお問い合わせは ☎0120-805039 受付時間/9:00~12:00 13:00~17:00(土、日、祝日を除く)

<http://www.konicaminolta.jp>



Revoria™

Revoria™ (レヴォリア)は
富士フイルムビジネスイノベーションによる
プロダクション・プリンティング・ソリューションの
ブランドです。

Revoria Press™ —— 乾式トナー方式プロダクション・プリンター

Revoria Flow™ —— プリントサーバー

Revoria One™ —— 印刷ワークフロー関連ソフトウェア

プリンティングビジネス全域にかかわる
この3領域の製品を連動させながら
グローバルにサービスを展開していきます。

わたしたち富士フイルムビジネスイノベーションは、
皆様と共にプリントビジネスの可能性を広げ、
富士フイルムグループの一員として
真に価値ある製品やサービスの創出に貢献します。



Revoria Press™

Revoria™

Revoria One™

Revoria Flow™

FUJIFILM

富士フイルム ビジネス イノベーション株式会社

〒107-0052 東京都港区赤坂9-7-3

TEL:03-6271-5111 (代表)

<http://fujifilm.com/fb>

FUJIFILM、および FUJIFILM ロゴは、富士フイルム株式会社の登録商標または商標です。
Revoria、Revoria ロゴ、Revoria Press、Revoria Flow、および Revoria One は
富士フイルムビジネスイノベーション株式会社の登録商標または商標です。

RICOH BUSINESS BOOSTER

私たちは“仕事を創る”、“仕事を回す”、“仕事が見える”の3つの視点から、
印刷事業者のビジネス拡大をさらに支援するための活動

『RICOH BUSINESS BOOSTER』を推進しています。

お客様ごとの課題に真摯に向き合い、

時には共創活動を通じて新たな価値を生み出しながら、

それぞれの解決策を導き出していきます。

印刷事業者の“真”のパートナーとして、

前例にとらわれない新たな答えを創りだす。

『RICOH BUSINESS BOOSTER』は私たちリコー日本の
新たなビジネスコンセプトです。